

活動実施報告書 (令和5年度)

名称：学校法人吉井学園 幼保連携型認定こども園 錦ヶ丘

所在地： 吉野 町 2223 番地
子目 番 4号

電話番号：099-244-0006 電子メールアドレス： admin@yoshii.ed.jp

代表者： 理事長 堂園 文子 担当者： 迫田 昌子

4月

取組内容

- ・植栽活動(土づくり・実際に植える)
- ・旬の食材に触れる

取組結果・感想等

- ・野菜を植えるだけでなく、土作りから取り組み、生長を楽しみにしながら世話をすることができた。耕運機での土作りを見ることで、自分達が遊ぶ砂との違いを体験を通して感じる姿が見られた。
- ・自分達が下準備に関わった食材に興味を持ち、給食に出た際は進んで食べていた。

活動の様子 (写真等)



5月

取組内容

- ・旬の食材に触れる
- ・植栽体験
- ・端午の節句

取組結果・感想等

- ・土作りから携わり植えた野菜に興味を持ち、園庭遊びの中で世話をしたり、様子を見に行ったりしていた。
- ・園庭に掲揚された鯉のぼりを見て自然と歌を口ずさんだり、あくまきを食べたりと、学年によって様々な取り組みをしていた。

活動の様子 (写真等)



6月

取組内容

- ・梅仕事
- ・田植え
- ・芋の苗植え

取組結果・感想等

・0・1歳児は梅を触ったり香りを嗅いだり、また、3歳以上児は梅干しや梅シロップ作りをする等、各学年の子ども達の発達に合わせて梅に触れた。
・米作りに興味を持ち、田植えを行う。合鴨にも触れ、命の尊さを知る機会にもなった。

活動の様子（写真等）



7月

取組内容

- ・梅仕事で作った梅干し等で塩分補給
- ・夏野菜の水やり
- ・旬の野菜の下処理の手伝い

取組結果・感想等

・梅を干す等の世話をしたり、シロップ作りで日々様子が変わっていく梅に興味を持ったりしながら、積極的に梅仕事に取り組んだ。
・トウモロコシの下処理では、トウモロコシのひげや皮に興味を持ち、野菜のありのままの姿を楽しみながら取り組んでいた。

活動の様子（写真等）



8月

取組内容

- ・夏野菜の収穫
- ・涼を楽しむ
- ・七夕飾りのお焚き上げ
- ・らっきょう漬け作り

取組結果・感想等

・暑さが厳しくなかなか戸外に出られない日が続いたが、暑さ指数等をボードで見える化して暑い日の安全な過ごし方について考えた。
・お焚き上げでは、なかなか目にする事の無い火を前に、気付いたことや感じたことを伝え合った。

活動の様子（写真等）



9月

取組内容

- ・梅仕事で使った梅干し等での塩分補給
- ・夏を楽しむ遊び
- ・十五夜

取組結果・感想等

・活動後や活動中に、自分達で漬けた梅干しを食べたり、梅シロップでかき氷作りをしたりして、作る～食べるの流れを楽しんだ。
・朝夕の涼しい時間に戸外に出て、少しずつ近付く秋を感じた。
・十五夜飾りを見ながら、秋の味覚を知ったり、粘土でオリジナルのお月見団子を作ってお供えをしたりと、工夫して遊びに取り入れていた。

活動の様子（写真等）



10月

取組内容

・稲刈り・脱穀・精米

取組結果・感想等

・鎌を使って稲刈りに挑戦し、収穫する楽しさだけでなく、昔ながらの収穫の難しさや面白さを体験することができた。

活動の様子（写真等）



11月

取組内容

・オータムウィーク(秋を楽しむ活動)
クッキング、芋掘り、散歩、木の実で製作、秋の色探し等

取組結果・感想等

・”秋を楽しむ”をテーマに食・自然あそび・散歩等の様々な活動を行う。キンモクセイの香りに気付いたり、芋の収穫～クッキングをしたりと、五感を使って秋に親しむ姿が大人も子どもも沢山見られた。

活動の様子（写真等）



12月

取組内容

- ・餅つき会
- ・冬野菜の収穫

取組結果・感想等

・餅つき会では、杵と臼を使い昔ながらの方法で実施した。餅をつく前のもち米を食べて普段食べているお米との違いを感じたり、杵でつくことで段々と変化する感触を楽しんだり、様々な視点から”餅”に触れる活動になった。

活動の様子（写真等）



1月

取組内容

- ・鬼火焚き
- ・寒さを楽しむ

取組結果・感想等

・鬼火焚きは、隣の姉妹園と合同で実施することで交流にもなった。保護者の方の中にも正月飾りを持って来る方がおり、親子で季節を感じる機会になっていた。
・寒さが厳しい日にタライに水を張り氷を作ったり、雪が積もった日は戸外に出て雪に触れたり、寒いならではの遊びを楽しんだ。

活動の様子（写真等）



2月

取組内容

- ・節分
- ・桜島大根(重さ当て・クッキング)

取組結果・感想等

- ・節分コーナーを作り、絵本を置いたり行事食を紹介したりして登降園時に親子で節分に親しめるようにした。
- ・地域の方に頂いた桜島大根の重さ当てコーナーをつくり親子で参加したり、クッキングで匂の美味しさを味わったりと、興味を持って参加していた。

活動の様子(写真等)



3月

取組内容

- ・よもぎクッキング
- ・桃の節句

取組結果・感想等

- ・園庭に自生しているよもぎを使い、よもぎ団子をつくる。収穫から自分達で行うことでより意欲を高めて参加していた。
- ・七段飾りのひな人形を見たり、由来や行事食を知ったりしながら、興味を持って桃の節句に関して取り組んでいた。

活動の様子(写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

- ・園庭の豊かな自然を活用し、日常の園生活の中で、四季の植物を採って食べたり、虫を捕まえて観察したりと、命と自然・四季に触れながら保育活動に取り組んだ。
- ・また、保育と並ぶ大きな柱である給食でも、保育者と給食室スタッフが密に連携を図りながら、折々に食育活動を保育の中に取り入れたり、行事食を紹介したりと、食を通して季節や自然に親しむきっかけ作りを行った。
- ・保育活動の中では、既成の玩具だけではなく、新聞紙や葉・実などの自然物などの素材を活用し、子ども達の創造性を高めることにも繋がったと考える。また、園庭の花を子ども達が摘み、ランチルームの机の上に飾りながら給食を食べるなど、折々で自然の美しさを目にする工夫に取り組んだ。
- ・上記のような活動は、各クラスや係だけで行うのではなく、全職員で共有しながら、保育者・給食室・営繕担当等、様々な職員が連携を図り、子ども達と取り組んだ。職員の園務の中に二十四節季のチームがあり、まずは大人が季節を知り楽しむことを大切に、職員への発信等も積極的に行った。
- ・これからは、園庭の植物や生き物に関する園内の考え方のディスカッションや、生き物や食材だけではなく、光や風など、もっと自然を取り入れた保育について考えていきたい。

